



小方英理子展『Crossed fingers』

【会期】2016年5月21日(土)～6月3日(金)

【時間】月・火・土・日 / 12:00 ～ 18:00

水・金 / 15:00 ～ 22:00

【観覧料】展示室 400円 / shopスペース 入場無料

【その他】併設カフェあり

【問合せ】e-mail : hasucafe@sw.sub.jp

tel : 03-3759-8470

【会場】Gallery Hasu no hana
146-0091 大田区鵜の木1-11-7

【アクセス】東急多摩川線鵜の木駅より徒歩1分。改札を出て左方向へ進み、交番がある信号を渡りさらに左に進み、長屋商店の5軒目。

【Gallery Hasu no hana / 展覧会企画・運営】

長屋の元写真館をリノベーションし、8m 弱の吹き抜けがある個性的な空間を持つギャラリーです。

2011年夏に立ち上げ、現代アートの企画展をメインにこれまで50本以上の展覧会を開催。

HP⇒<http://www.hasunohana.net/> twitter⇒<http://twitter.com/hasucafe>

ERIKO OGATA

EXHIBITION

2016/5/21-6/3



『wool 3 / fisherman』
2016 黒泥土、化粧土、毛糸

ERIKO OGATA EXHIBITION

Crossed fingers

小方英理子は『記憶をとどめる方法』、『素材と生き物の境界線』をテーマに、黒泥土や磁器によるタイル作品や、人物をモチーフにした立体作品を制作している作家です。

武蔵野美術大学でテキスタイルコースを卒業後、ニューヨークに渡り陶芸を学んだ小方は、人体解剖図から夢想したシリーズ、人と家畜の歴史に着目し、馬、羊、山羊、ロバなどの動物を制作してきました。現在の作品は髭の紳士が特徴的にも思えますが、実は人物を作るようになったのは日本に帰ってきてからだと言います。

おとぎの国のような実在する話しや、自身の記憶や経験から紡ぎ出されるイメージ1つ1つをまるで糸のように束ね、大切に編み上げる造形は、時代の流れにはとわられない強さがあり、わたしたちに様々なストーリーを想像させ独自の世界へといざないます。

本展では、作家にとってしばらくぶりに挑んだ大きな立体作品の発表に加え、アクセサリブランド eriko ogata として展開している磁器のブローチ、ピアスなどの販売も shop スペースにて行います。

小方英理子 | ERIKO OGATA

1982年 東京都生まれ

2005年 武蔵野美術大学造形学部 工芸工業デザイン科 テキスタイルコース 卒業

2005年 - 2007年 NY滞在。Greenwich House PotteryにてPeter Gourfain師の元、陶芸での制作活動

【個展】

2007年 Yu (NY)

2013年 「2010 - 2013」 / Dessin (東京・中目黒)

2014年 「Alphabet & Portrait」 / FALL (東京・西荻窪)
DESPERADO (東京・渋谷)

2015年 「Two Triangles, a Hexagram」 / FALL (東京・西荻窪)

2016年 「eriko ogata」 / FALL (東京・西荻窪)

【グループ展・他】

2006年 Greenwich House Pottery (NY)

2015年 「馬と馬具にまつわる展覧会」 / アノニム・ギャラリー (長野・茅野市)

2016年 「アーティストのブローチ展」 / Hasu no hana (東京・鶯の木)

<http://eriko-ogata.tumblr.com/>

※過去作品例



『Horse』
2010 テラコッタ、化粧土、釉薬



『anatomical experiment 2』
2011 磁器



『馬と三つ編み』
2015 黒泥土、釉薬



eriko

triangle brooch & portrait brooch